

# 令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 12

千葉県立生浜高等学校 全日制の課程 普通科

## 1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、目標をもって充実した高校生活を送る強い意志があり、次のア又はイのいずれかに該当する生徒。

- ア 中学校時代の学習態度が良好で、特別活動等に熱心に励み、入学後も学校生活全般にわたり意欲的に取り組む意志があること。
- イ 中学校時代の学習態度が良好で、部活動において熱心に活動し、入学後も意欲的に部活動を行う意志があること。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：7～8分程度

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

### (2) 調査書

アの数値に、イ及びウについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間皆勤である場合は加点する。 3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、総合的に判定する際の参考とする。
ウ 行動の記録	○の数が6つ以上の場合は加点する。 ○の数が0又は1つの場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容について問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

### (3) 面接 [120点満点]

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（問題がある）の4段階で評価する。aを15点、bを10点、cを5点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各60点満点）で合計し得点化する。評価dが2名の評価者にそれぞれ1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容に対し、誠実に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等の身だしなみが整えられており、基本的な礼儀作法が身に付いている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	50点	120点	$(805 + \alpha - m)$ 点

（算式1）  $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

$m$ ：中学校評定合計平均値

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。